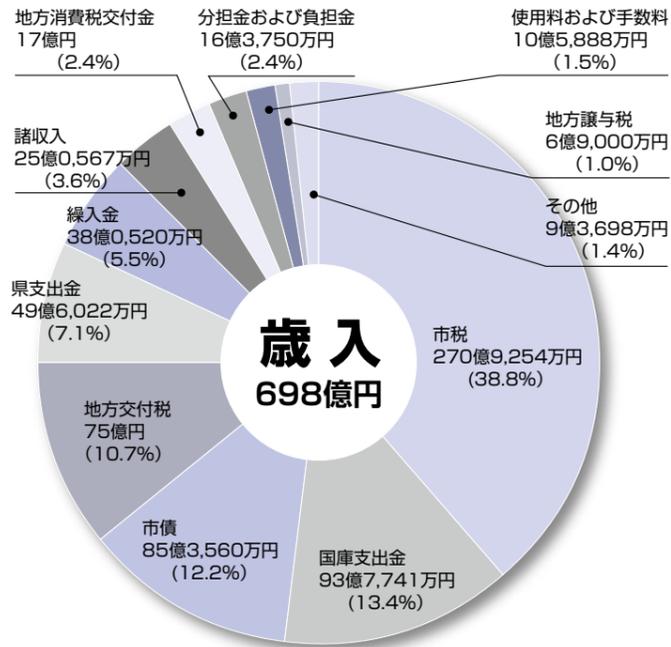


歳入の内訳

用語の解説

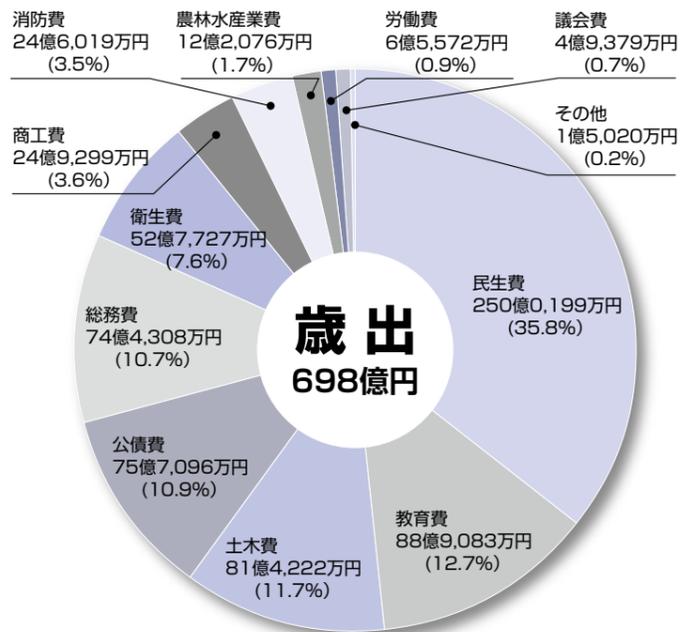
- 市税** 市民税や固定資産税など、皆さんが納める税金
- 国庫支出金** 市が特定の事業をするときに、国が負担する補助金や負担金など
- 市債** 国や銀行などからの借入金
- 地方交付税** 国税(所得税・法人税・消費税など)の一部から、市の財政状況に応じて交付されるお金
- 県支出金** 市が特定の事業をするときに、県が負担する補助金や負担金など
- 繰入金** 特別会計や基金などからの収入金
- 諸収入** 預金利子・貸付金の元利収入など
- 地方消費税交付金** 消費税として納められた5%のうち1%の中から、一定の基準で交付されるお金
- 分担金および負担金** 受益者が経費の一部を負担するお金(保育所の保育料など)
- 使用料および手数料** 公共施設の使用料や戸籍・住民票などを交付するときの手数料
- 地方譲与税** 地方揮発油譲与税・自動車重量譲与税など
- その他** 自動車取得税交付金・地方特例交付金・配当割交付金など



歳出の内訳

用語の解説

- 民生費** 児童・高齢者・体の不自由な人・生活に困っている人を援助するための経費
- 教育費** 学校教育・社会教育などに使われる経費
- 土木費** 道路・公園・市営住宅などを造ったり、区画整理を行ったりするための経費
- 公債費** 道路・学校などを造るために借入れたお金を返済するための経費
- 総務費** 税金の徴収・戸籍・選挙事務など、市役所の一般的な仕事に使われる経費
- 衛生費** 皆さんの健康を守ったり、ごみ・し尿を処理したりするための経費
- 商工費** 商業・工業・観光などを盛んにするための経費
- 消防費** 消防・救急業務などに使われる経費
- 農林水産業費** 農道や水路の整備など、農業を盛んにするための経費
- 労働費** 勤労者のために使われる経費
- 議会費** 市議会議員の報酬や、議会関係に使われる経費
- その他** 災害復旧費・予備費



特別会計・公営企業会計

特別会計

事業名	予算額
小型自動車競走事業費	178億2,039万円
学校給食センター事業費	17億9,340万円
国民健康保険	208億7,383万円
後期高齢者医療	18億4,283万円
介護保険	127億4,272万円
下水道事業費	31億1,792万円
農業集落排水事業費	5億8,857万円
特定地域生活排水処理事業費	3,091万円

予算額 **817億7,291万円**

特別会計 **588億1,056万円**

公営企業会計 **229億6,235万円**

※各会計の予算額は「万円」単位で端数調整しているため、予算額計と一致しません。

公営企業会計

事業名	予算額
水道事業	70億8,948万円
病院事業	155億5,267万円
介護老人保健施設事業	2億5,229万円
訪問看護事業	6,792万円

伊勢崎をもっと元気に! もっと豊かに! もっと安全に!

平成24年度 一般会計当初予算

698億円 ~前年度比プラス3.1%~

本年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の予算が、第1回市議会定例会で可決されました。一般会計の当初予算額は、698億円です。全市を挙げて元気を出してほしい、市民の皆さんに心も体も元気になってほしいとの思いから、前年度と比較すると、3.1%増加の積極型予算となっています。

本年度の予算の配分と主な事業について紹介します。なお、詳しい資料は市ホームページに掲載しています。

※金額は端数調整し、「万円」単位で表記しています

問い合わせ 財政課(☎27-2712)

市民の皆さんとともに、国難といえる東日本大震災の影響と厳しい経済状況を乗り越え、本市の希望ある未来を着実に築いていくためには、何よりも一人一人が元気を出していくことが重要です。伊勢崎市が元気を出していくことが、群馬県の元気、ひいては日本の元気につながっていくと思います。このような思いから「伊勢崎から元気を発信する予算」を念頭に置いて編成しました。

- ① 地域経済の活性化
- ② 福祉・地域医療の充実
- ③ 安心・安全なまちに
- ④ 教育・スポーツ・文化の振興
- ⑤ 行財政改革の推進

予算の基本方針である「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」を実現するため、次の五つの重点政策に取り組んでいきます。



伊勢崎市長 五十嵐 清隆

伊勢崎から元気を発信する予算

市債残高の状況

各会計とも市債残高の抑制に向けて事業運営をしていますが、一般会計では、「小学校の空調設備整備」「緋の郷改修」「消防本部庁舎整備」など大型事業への投資により増額しています。

今後とも計画的な市債の借入により、財政の健全化を図り、将来の負担軽減に努めていきます。

平成24年度末の市債残高(元金)見込みは、約3億9千万円の増加

	平成23年度末見込み	平成24年度末見込み	増減額
一般会計	655億1,904万円	675億2,187万円	20億0,283万円
特別会計	240億8,602万円	235億0,429万円	▲5億8,173万円
介護保険	488万円	-	▲488万円
下水道事業費	191億9,379万円	188億7,265万円	▲3億2,114万円
農業集落排水事業費	48億5,375万円	45億8,664万円	▲2億6,711万円
特定地域生活排水処理事業費	3,360万円	4,500万円	1,140万円
公営企業会計	287億6,599万円	277億3,933万円	▲10億2,666万円
水道事業	147億6,315万円	139億8,096万円	▲7億8,219万円
病院事業	140億0,284万円	137億5,837万円	▲2億4,447万円
合計	1,183億7,105万円	1,187億6,549万円	3億9,444万円

※平成24年度末見込み額は、当初予算作成時点の残高です

主な事業の概要と予算額

※新=新規の事業・拡=拡充する事業

安心、安全なまちに

安心
安全

防犯対策事業=1億1,280万円 ▶ 防犯灯のLED化(新設350基、転換600基)、防犯カメラ内蔵LED防犯灯20基を新設
 地域防災事業=3,540万円 ▶ 防犯倉庫2基を整備(赤堀・東地区)
 災害対策事業=5,514万円 ▶ 震災で被災した住宅の屋根補修費補助金を継続(5,250万円)
 保健衛生事業=1,165万円 ▶ 新携帯型AEDの貸し出し(95万円)
 【合併特例債を活用した事業】
 消防本部庁舎建設事業=1億3,680万円 ▶ 新消防防の拠点となる消防本部庁舎を整備(設計業務委託・土地購入など)



消防本部庁舎を整備

環境

環境対策事業=4,922万円 ▶ 住宅用太陽光発電システム設置費補助金を継続(2,000万円)
 廃焼却炉解体および廃棄物処理施設整備事業=2億9,430万円 ▶ 新環境清掃センター解体工事・あずまダストセンター解体計画の作成など

教育・スポーツ・文化の振興

教育

小・中学校耐震補強事業=4,300万円 ▶ 小・中学校の耐震設計など
 公立学校運営事業=79万円 ▶ 米国スプリングフィールド市にあるミズーリ州立大学付属語学学校での海外語学研修を市内の全ての中学校に拡充
 【合併特例債を活用した事業】
 宮郷小学校プール改築事業=1億2,000万円 ▶ 既存プールの解体および改築工事
 小学校空調設備整備事業=10億1,640万円 ▶ 新学習環境の改善を図るため市内の小学校の全教室にエアコンを設置
 小・中学校体育館耐震補強事業=3億2,593万円 ▶ 新名和小学校・豊受小学校・境東小学校・境西中学校の体育館の耐震補強工事
 宮郷中学校整備事業=2億5,000万円 ▶ 新グラウンド整備工事など
 赤堀中学校整備事業=7億3,046万円 ▶ 新移転・新築するための学校用地の購入など



小学校の教室にエアコンを設置

スポーツ

65歳以上 スポーツ施設使用料を無料化 ▶ 新65歳以上の市民の健康増進と施設の利用促進を図るため

文化

【合併特例債を活用した事業】
 緋の郷改修事業=5億8,660万円 ▶ 新円形交流館の建て替えおよび市民交流館・スポーツ交流館の耐震補強工事

行財政改革の推進

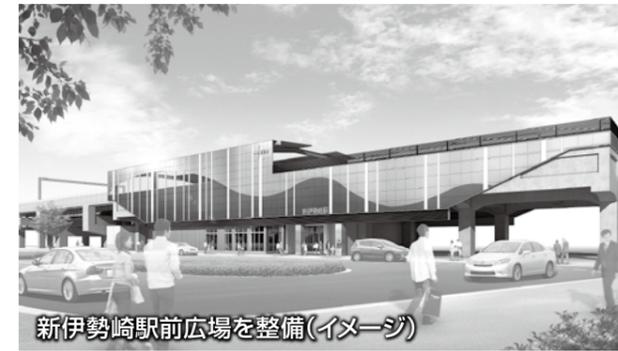
行財政改革

市長などの退職金の削減 ▶ 市長・副市長(25%)、教育長(16.7%)の退職手当を削減
 指定管理者制度(公共施設の管理運営委託)の推進 ▶ 地域ふくし館うえはす・こども発達支援センターを指定管理者へ委託



4月開館のこども発達支援センター

平成22年度決算に基づく公会計制度の財務書類(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)を、市ホームページで公表しています。



新伊勢崎駅前広場を整備(イメージ)

産業
観光

中小企業振興対策事業=1億1,815万円 ▶ 新緊急経済対策として住宅リフォーム助成金を創設(1億円)
 観光事業=9,895万円 ▶ 新いせさき燈華会への補助(50万円)、いせさき花火大会への補助(2,000万円)、いせさきイルミネーション事業への補助(100万円)
 金融対策事業=17億8,701万円 ▶ 中小企業活性化資金融資預託金(5億9,153万円)
 商業振興対策事業=7,553万円 ▶ 買物支援・商業活性化対策としてまちなか夕市を開催(50万円)
 企業誘致事業=3,394万円 ▶ Made in ISESAKI事業として市内企業の工業製品をPR(90万円)
 【合併特例債を活用した事業】
 (仮称)宮郷工業団地周辺整備事業=2億3,768万円 ▶ 宮郷地区に工業団地を造成するための周辺整備を実施(市道・排水路などの整備)

雇用

緊急雇用創出事業=3億6,368万円 ▶ 19事業で新たに308人を雇用
 雇用対策事業=5,546万円 ▶ 中小企業緊急雇用安定助成金を支給(1,500万円)

福祉・地域医療の充実

子育て

第3子以降保育料無料化 ▶ 新子育て支援として保育所(園)に通う第3子以降の保育料を無料化
 子どものための手当等給付事業=43億9,732万円 ▶ 新子どものための手当給付費(35億4,463万円)
 民間保育所対策事業=42億4,693万円 ▶ 新夜間保育所を開設(561万円)
 民間保育所施設整備事業=1,575万円 ▶ 新つくし保育園(境)の大規模修繕

地域医療

感染症予防事業=4億1,975万円 ▶ 新高齢者肺炎球菌予防接種を実施(831万円)、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌予防接種を実施(1億8,156万円)
 疾病予防対策事業=3億1,834万円 ▶ 各種がん検診(胃がん・大腸がん・子宮頸がん・前立腺がんなど)を実施
 市民病院事業(病院事業会計) ▶ 地域の中核病院として高度先進医療を提供

地域経済の活性化

消費
促進

商業振興対策事業=7,553万円 ▶ プレミアム付商品券発行事業への補助(3,800万円)

都市
整備

駅周辺土地区画整理事業(第一・第二)=10億8,020万円
 都市計画道路3・4・8号線(中央町・東本町工区)=3,780万円 ▶ 新伊勢崎駅前広場を整備
 市道1級12号線(境中島地内)=1,400万円
 市道2級558号線(本関町地内)=1,500万円
 【合併特例債を活用した事業】
 鉄道連続立体交差事業(JR東日本関連・東武鉄道関連)=9億8,894万円 ▶ 東武鉄道関連の県営事業負担金(8億1,000万円)
 東毛広域幹線道路(境保泉地内ほか)=5億5,001万円
 北部環状線道路(日乃出町地内)=811万円
 名和幹線道路(中町地内ほか)=8,500万円
 外環状道路(境上瀧名地内)=7,420万円
 市道112号線(西久保町地内)=1億2,560万円
 市道2級24号線(境伊与久地内)=1,000万円
 橋りょう維持事業(下大橋・宗高橋・天満橋)=5,600万円



第3子以降の保育料を無料化

障害者
支援

地域ふくし館うえはす管理運営事業=3,638万円 ▶ 新障害者就労支援事業を追加実施
 こども発達支援センター管理運営事業=6,837万円 ▶ 子どもの発達相談や親子通園など総合的な支援を実施